

春という名の
会社を
立ち上げました。



火の国 阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

思えば、高校時代の少年剣士の毎日がいまの自分の根となっている。
所属する剣道部は熊本県内有数の強豪校だった。
住まいの阿蘇から熊本市の学校へ電車通学。五時半の始発で登校し、
疲労困憊の練習を終えて十時十五分の終電で帰る。
来る日も来る日も繰り返した。

「無遅刻、無欠席。授業の予習復習は電車の中しかできない。
ほとんど寝てましたが」

もうひとつ、精神的に鍛えられたことがある。

小学校時代、父が倒産した。家は戦場のようになった。

世の中は善意ばかりで出来ていないということ、

小さな胸に叩きこんだ。とっぜん大病に見舞われ、

仕事の戦列を長く離脱したのは四十歳直前のことだった。

「くよくよしませんでした。めげるのは恥と思っていたから」

困難をことごとく栄養にしてきた男、といえるだろう。

多感な日々、汗にまみれた日々を過ごしたこの地が好きだ。

「阿蘇のちから、然のこころを思い切り発信していきたいです」

スプリングスカンパニー 井 隆蔵

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。